

卯

ときどきニュース 2011年 5月号



発行：企業組合とちぎ労働福祉事業団

3月11日の東日本大震災より2カ月が過ぎ、被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。海なし県の栃木には津波こそありませんでしたが、大きな余震が続き、福島原発の影響など今後の生活においても心配な日々を過ごされていると思います。

今年に入ってからの出来事中心に「ときどきニュース」をお届けいたします。

事務局合宿

1月28日、29日にかけてフォレストイン益子（NPO法人『ましこイーまちネット』が運営）にて事務局合宿を開催しました。今年目標と2～3年後に向けての目標発表や、就労支援事業発足に関して意見が出されました。

まちづくりプランナー 村瀬正尊氏による講演

「CLS(クルス)への挑戦～ユニオンスタジオプロジェクトの取り組み」

全国的にシャッター通り化している商店街が多く存在している。商店が沈静化すると周辺地域にも影響がでてシャッターを閉める店が多くなってしまふ。宇都宮市内にも「ユニオン通り」「もみじ通り」などシャッター通り化している商店街があり空き店舗をどう活用していくか？に取り組始めたユニオンスタジオプロジェクトを主に講演していただきました。

空き店舗で新たに事業を起こしたい人が問題となるのは資金面。その限られた資金をできるだけ軽減するため、店舗改修は業者に依頼するのではなく、出来るところは自分たちで“リノベーション”して味のある（こだわりのある）内装で営業を始める店舗がではじめた。元々「ユニオン通り」にはこだわりを持った方がお住まいで、ユニオンスタジオでは「CREAN ユニオン通りエリアマップ」「Stew」など小冊子を発行するために、住人の皆様へ取材を行っています。この取材から“こだわり”“つながり”を発見して、冊子を繋げると商店街の“人のつながり”が現れる人物総関図を作成中です。

CLS（コミュニティの関係者が主体となって導きだす課題解決策）の具体的作り方や仕組みづくり等を学び実践していくための「地域、分野、世代横断的なプロジェクトチームを組成してまちづくりを行っています。

まちづくりプランナーの村瀬氏は全国各地の地域起こしで忙しいなか、当組合の合宿 in 益子にお越しのうえ講演していただきました。

村瀬正尊（むらせまさたか）/小山市在住/株式会社マチヅクリ・ラボラトリー 代表/株式会社ジャパンエリアマネジメント 取締役/一般社団法人エリア・イノベーション・アライアンス 理事/任意団体BBQ 代表
ユニオンスタジオ ブログ <http://bbq.union-studio.jp/>

ブログはじめました (^v^)P



タイトル「ほとらぼ (HOT Labo)」<http://blog.canpan.info/trfj/>
H (人と人との) O (思いを) T (つなげる) Labo (実験室) の頭文字でHOT Labo
より、「ほとらぼ」と決定いたしました。日頃のちょっとした出来事をときどき“つぶやき”ま
す。ひらがな「ほとらぼ」で検索してみてください。

ありんこ保育園のホームページもリニューアルしました！

<http://www.minorinosato.or.jp/arinko/index.html>

インターン受け入れ

特非) とちぎユースワークカレッジのインターン生を2月1日～2月12日まで3名(宇都宮事業所2名、本部1名)受け入れました。

面接のアポイントを取ることからインターン開始です。面接当日は、着慣れないスーツと面接の雰囲気からカチカチに緊張されていました。

本部事務所では領収書の押印や資料貼付など事務作業と、宇都宮事業所ではビルメンの清掃作業や生ゴミリサイクルの運搬などに同行して業務体験していただきました。

受け入れまで期間が短く準備不足もありましたが、なんとか無事にインターンを終了することができました。指導された皆様、毎日の業務に加えインターン生の指導と日報のアドバイス記入とお疲れ様でした。

インターン終了後には全員から“貴重な体験を活かしていきたい”と「お礼の葉書」を頂きました。社会経験として自信を持つことで就職へつながっていきけるといいですね。

年始の品として

クッキー詰め合わせ ストラップ



佐藤理事長の大学時代の同級生(年齢は違う) NPO 法人みんなのまーち代表木目沢善重氏をお招きして11月27日(土)就労支援について学習会を開催した縁から、

年始の品として社会福祉法人ほっと福祉記念会の運営する「Sweet Hot」(就労継続支援A型事業所)クッキー詰め合わせ(※ウサギの型抜きを特別注文)と、「特非) とちぎユースワークカレッジ」

パワーストーン付き組紐をお取引先への年始挨拶にいたしました。



11月27日
学習会のようす

郡山視察 3月11日 (金)



社会福祉法人ほっと福祉記念会の施設と「からふる」(就労移行支援事業所) 20名参加のSTを見学させていただきました。



↑
グループホーム「楽」

「楽」は一軒に4~5人(一人一部屋)タイプのグループホームで、世話人さんが交代で朝食作りなど対応し、居住者の面倒を見て下さいます。

昼食は、年始の品を制作していただいた、カフェ「Sweet Hot」(就労継続支援A型事業所)でピザのランチセットを予約しておきました。

当日は貸切りで、就労支援の話がうかがいながら自慢のマルゲリータとデザートをおいしくいただきました。



手作りクッキー・マフィン(左)は棚にある商品ほとんどを買い占めてきたほど皆さんに人気でした。



クッキー・マフィンの入った引き出し



NPO法人みんなのまーちにて(「ゆめのまーち・はなのまーち」就労継続支援B型事業所)の見学

工業地帯の一角に位置するため、ダンボール成形と菓子折りなどの作業が大半で、仕事が尽きてしまうこともなく、かえって忙しすぎて孫請けに出すほどの仕事量があるそうです。

その施設説明中に東北地方太平洋沖地震に遭遇しました。激しい横揺れが2、3分つづき、後はみなさん御存じのとおり未曾有の惨事となったのですが、発生直後はこんなことになっているとは想像していませんでした。

晴天だった天候が地震直後に吹雪のような雪になり、すぐにバスに乗り込み宇都宮へ向かいました。既に停電となっていたため、郡山市内も渋滞となった車内から目を疑うような光景を通り抜けつつ…高速道路は通行不能となっていたため一般道をひた走り、夜の9時に事業団へ到着。全員無事に帰ってくることができたのも、機転を利かせ山道を運転してくださった運転手さんのおかげでした。



社会福祉法人ほっと福祉記念会
就労移行支援事業所「からふる」
(郡山市横塚3-4-21)

就労継続支援A型事業所「カフェ sweet hot」
(郡山市小田原3-10-4)

NPO法人みんなのまーち
(郡山市田村町金屋字新家45・44)

私たちに“出来ること”を考えさせられる日々が続いています。事業団では、被災者の皆さんの暮らしを長期的、継続的に支援する寄付や支援活動を行う資金として独自の「復興支援基金」を創設いたしました。復興に向けて少しでも被災地の助けとなるよう活動していきたいと考えています。

震災ボランティア派遣に取り組んでいます

特非) 宇都宮まちづくり市民工房と、栃木県生活協同組合連合会と連携して、福島県いわき市方面への震災ボランティア派遣に取り組んでいます。これまで4回、派遣しました。

市民工房では月曜コース(いわき市平方面)、県生協連では土曜コース(いわき市小名浜方面)のボランティア派遣を組んでいます。

毎日数百名の人たちが、いわき市にボランティアに入っている様子です。5月21日の県連ボラでは、遠方参加組は藤沢市や東京都の人たちの他、自国も震災で被災したので手助けをしたいというニュージーランドの若い女性も一緒でした。

ニーズとメンバーのマッチングで当日のボランティアの内容が決まりますので、何をするかは行ってみないと分かりませんが、今のところ、がれきや泥の片付け、清掃作業のニーズが高いようです。

いわき市の環境放射能測定値は、0.23マイクロシーベルト/時間(5月23日現在、福島県災害対策本部発表)。放射性物質を体内に取り込んでしまう内部被ばくの危険性等が全くない訳ではありませんが、環境放射能は栃木県の県北地方と同レベルの状況であり、皆さんご自身で判断の上、可能な方は是非参加をお願いします。(詳しい日程等は、田中まで。)



5月21日の県連ボラ参加メンバー

定期購入している花のアレンジメント作品集

